

左ノ書幹ハ明治三年著者が若年時代に仕ヘタル砂防主任官伴時彦氏ノ此度著者ニ送ラ

■レタルモノニシテ維新當時ノ砂防創設時ノ事情ヲ髣髴セシムル貴重ノ文ナレハ謹謝收

●録スルコト、セリ

前略嚮きに依頼を受けたる砂防事業餘りに古るい事で雲を掴むが如く真に便りない記憶のあらまし別稿のように書いてはみたがホンのおまへの心得までに内々受取つて貰いたい

そして明治三年實地踏査の際おまへが隨行されたように記憶のまゝ書き載せたが若し間違つてあつたら抹殺して下さい——其他にも何か氣付きの點もあれば訂正してほしいのである

四月二十一日

須磨

隱居

清太郎殿